

朝日新聞 2012(平成24)年4月5日(木) ぶらりミュージアム

# ぶらり ミュージアム

## 県立博物館

1851年のロンドンを皮切りに、55年パリ、62年ロンドン、67年パリ、73年ウィーン、76年フィラデルフィアと、19世紀後半から万国博覧会が欧米各地で開催されるようになった。

日本は、1862年のロンドン万博に竹内下野守保徳を正使とし、福沢諭吉や福地源一郎らを含む38人の使節団を派遣し、開会式で注目を浴びた。日本が初めて出品したのは、1867年のパリ万博で、幕府や薩摩藩とともに、佐賀藩も「日本肥前太守政府」として独自に

「深川長右衛門パリ万博持ち帰り品」

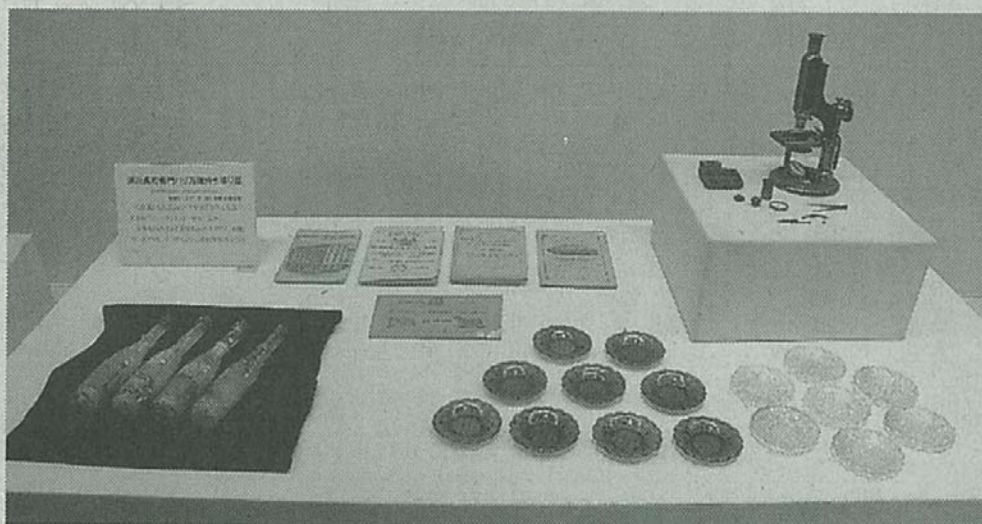
## 顕微鏡・ガラス皿：多様な出品物

出品した。

佐賀藩は、佐野常民を代表とし、翻訳方として小出千之助、御用達に商人の野中元右衛門と深川長右衛門、佐野と同じ精錬方から藤山文一の計5人を派遣。陶磁器をはじめ佐賀藩の多様な産物を出品した。深川は野中の急死後、物産品の販売に苦労した人物である。写真の資料は、深川がパリから持ち帰った品々で、英国製の顕微鏡、モートン社製のサラダ油、唐草文のガラス皿、各国出品カタログなど多様なものが含まれている。

(県立博物館  
学芸員 浦川和也)

佐賀市城内1の15の23。電話0952・24・3947。バス停「博物館前」下車、徒歩1分。開館は午前9時半～午後6時。休館日は月曜。



個人蔵（佐賀県立博物館保管）／19世紀